

平成27年度

収支決算まとまる

医療費（保険給付費）が減少する一方で、納付金が増加し、赤字決算に

平成27年度の事業報告および収入支出決算報告が、7月7日に開催された第63回決算組合会において承認されました。

平成20年度に高齢者医療制度が施行されて以来、納付金（支援金）の増加により全国の健保組合は財政の悪化に苦しんでいます。平成28年度予算では、全組合のおよそ6割が赤字（＊）となっています。

納付金（支援金）は、いわゆる団塊の世代の高齢化により、今後も増えていくことが懸念され、このままでは健康保険制度の持続性さえ危ぶまれます。

全国の健康保険組合の上部団体である健康保険組合連合会では、「公費投入による高齢者医療費の負担構造改革を断行し、現役世代の負担軽減を図ること」を強く訴えています。

＊平成28年度健保組合予算早期集計結果の概要より（健康保険組合連合会発表資料）。

健康保険

当健保組合の平成27年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より145万5千円少ない2億1330万5千円でした。支出に対して不足する収入額を補うために4182万7千円を繰り入れました。

一方、支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より2762万3千円少ない8999万3千円でした。

また、高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前年度より538万4千円多い1億867万3千円でした。

保健事業費には1620万1千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。

以上のように、みなさまのご協力のお陰により、保険給付費は減少しましたが、平成27年度決算も赤字となりました。

介護保険

介護勘定の収入支出決算勘定は、収入2185万3千円、支出1990万6千円、差引額は194万7千円でした。

平成27年度 収入支出の決算概要

一般勘定

●収入

科 目	決算額
健康保険収入	2 億 1,330 万 5 千円
調整保険料収入	349 万 1 千円
繰入金	4,182 万 7 千円
国庫補助金収入	80 万円
財政調整事業交付金	810 万 2 千円
雑収入	662 万 9 千円
合 計	2 億 7,415 万 4 千円

●支出

科 目	決算額
事務費	3,349 万 3 千円
保険給付費	8,999 万 3 千円
法定給付費	8,989 万 7 千円
付加給付費	9 万 6 千円
納付金	1 億 867 万 3 千円
前期高齢者納付金	4,975 万 9 千円
後期高齢者支援金	5,349 万 1 千円
退職者給付拠出金	542 万 1 千円
老人保健拠出金	2 千円
保健事業費	1,620 万 1 千円
財政調整事業拠出金	348 万 8 千円
連合会費	50 万 9 千円
積立金	80 万円
雑支出	17 万 1 千円
合 計	2 億 5,332 万 8 千円

介護勘定

●収入

科 目	決算額
介護保険収入	2,184 万 1 千円
雑収入	1 万 2 千円
合 計	2,185 万 3 千円

●支出

科 目	決算額
介護納付金	1,990 万 6 千円
合 計	1,990 万 6 千円

平成27年度決算収支の割合

